

科目	動物外科看護学実習 I		
担当講師 徳田竜之介 実務経験有 獣医師 動物病院院長 大学院卒業後動物病院開業、専門学校設立			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護学科 1年次前期、後期	実習	必修	60
授業目標 基本的な外科手術の流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手及び周術期の動物管理を身につける。手術関連業務、術前、術後の看護、麻酔、鎮痛、麻酔モニタリングなどの詳細について理解する。 授業概要 手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術補助、救急救命等動物外科学で学んだ知識の実践力を習得する。手術における動物看護師の役割を理解し、周術期果たす役割を理解できるようにする。			
成績評価の方法 成績評価の方法 評価の基準は実習レポートと筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。			
教材 動物看護コアテキスト 6 巻 (P2～P66 ファームプレス) 動物看護実習テキスト (P206～P255 インターズー)			
授業計画 毎週金曜日 3 限目 13:20～14:50 4 限目 15:00～16:30			
回	授業内容		
1	手術補助、器具機材の準備①	外科実習の流れ、手術器具、	
2	器具機材の準備②③	縫合材料 (針と糸)、ドレープ類・ガウンの意義	
3	器具機材の準備④⑤	電気メス、器具の滅菌管理	
4	避妊、去勢手術、麻酔前評価、まとめ	卵巣・子宮全摘出術、去勢手術の定義、術前検査の意義、まとめ	
5	術前準備、術者の準備①②	手指の消毒法、ガウン・グローブの装着法	
6	動物の準備①②	術野の準備、ドレープのかけ方	
7	血管確保、気道確保	血管確保の準備・手順、気道確保の準備手順	
8	輸液管理、麻酔とは、麻酔薬の作用、麻酔前投薬①	輸液の準備の管理、麻酔の種類、麻酔薬の作用・代謝・排泄、麻酔前投薬の意義	
9	輸液管理、麻酔とは、麻酔薬の作用、麻酔前投薬②	輸液の準備の管理、麻酔の種類、麻酔薬の作用・代謝・排泄、麻酔前投薬の意義	
10	鎮痛薬、麻酔導入、吸入麻酔、酸素化①	鎮痛薬の意義、麻酔導入方法の理解、吸入麻酔薬の意義、麻酔導入前の酸素化の意義	
11	鎮痛薬、麻酔導入、吸入麻酔、酸素化②	鎮痛薬の意義、麻酔導入方法の理解、吸入麻酔薬の意義、麻酔導入前の酸素化の意義	
12	麻酔器の構造と管理、モニター機器の準備と管理①②、まとめ	麻酔器の仕組みの理解、ECGモニターの仕組みの理解、血圧モニターの仕組みを理解、まとめ	
13	麻酔器の構造と管理、モニター機器の準備と管理①②、まとめ	麻酔器の仕組みの理解、ECGモニターの仕組みの理解、血圧モニターの仕組みを理解、まとめ	
14	まとめ	総合実習	

15	麻酔モニター①、麻酔前評価、麻酔維持	気道のモニタ、換気のモニタ、術前検査の意義、モニタリングの目的
16	麻酔モニター②、麻酔前評価、麻酔維持	気道のモニタ、換気のモニタ、術前検査の意義、モニタリングの目的
17	動物のモニター①、麻酔のモニター①	五感を使ったモニター方法①②、換気のモニター、酸素化のモニター
18	動物のモニター②、麻酔のモニター②	五感を使ったモニター方法①②、換気のモニター、酸素化のモニター
19	血液循環、血液循環のモニター①②	血液循環とは、心電図モニター、血圧のモニター
20	血液循環、血液循環のモニター③④	血液循環とは、心電図モニター、血圧のモニター
21	その他のモニター①②、まとめ、実技試験対策、実技試験	体温、尿量のモニター、総まとめ、実技試験
22	まとめ	総合実習
23	まとめ	総合実習
24	まとめ	総合実習
25	まとめ	総合実習
26	まとめ	総合実習
27	まとめ	総合実習
28	まとめ	総合実習